

名もなく貧しく美しくもないメディアに  
きちんと対応してくれた蒲田に関わる人  
たち

須貝 明司

昭和五九年に前後の見境もなく、いきなりタブロイド四  
ページのフリーペーパー、蒲田のタウン紙「かまたニユー  
ス」を創刊した。そして平成一一年に、またいきなり休刊  
(実質は廃刊)する第一七四号まで、ちよつとした山もあ  
つたけど、ほぼ谷底を走っているような約一五年間、今考  
えればよく続けたものだった。

創刊当時はまだまだ「タウン誌・紙」に対する世間の認

識は薄く、どこの取材に行くにも  
苦勞した。しかし、名もなく、貧  
しく、美しくもないタウン紙でも、  
何とか続けていると少しずつ世  
間が認めてくれる。そんな中で取  
材を通じてさまざまな人と出会  
うことができた。  
まず最初に、右も左もわからな  
い「かまたニユース」創刊直後の  
私に興味を示し、商店街への道を  
開いてくれた渡邊輝也さん。確か

当時、加登屋の常務だったと思う。また社長でお父さんの  
渡邊正四郎氏のインタビュもさせてもらった。正四郎氏  
は大正四年生まれ、同九年生まれで弟さんの小宮山正九郎  
氏は「喫茶ルノアール」の創業者だ。  
そして環八浴いにあつた東横インの並びでガラス製品  
のお店を営んでいた鍋谷孝さんは薄っぺらなタウン紙に  
優しくていねいに対応してくれた。

さらに思い出す名前を挙げておく。

井伏鱒二の「本日休診」のモデルになった南雲今朝雄氏、  
蒲田の地主で蒲田開発株式会社設立に関わつた森鐵太  
郎氏、言わずもがなの小沢昭一氏、のちに直木賞作家にな  
つた安倍龍太郎氏などなど。安倍さんには創刊一〇〇号記  
念にエッセイまで寄稿してもらつた。

おもしろいところではナンセンスストリオの「前田隣(ま  
えだりん)」がいた。インタビュで紙面に紹介した際、「前  
田隣」と表記したところ、正しくは「前田隣」だとお  
叱りを受けた。「マイ・ダーリン」のもじりというのがそ  
の理由だった。

そして何より忘れがたいのが笠智衆だ。あの頃は「マス  
コミ手帳」という冊子が販売されていて、今では考えられ  
ないことだが、俳優、タレントの住所や電話番号が掲載さ  
れていた。

そこに笠智衆の名を見つけ、松竹蒲田時代の話を書いて  
みたいと思つたがさすがに躊躇した。それを後押ししたの

### 『本日休診』の街

#### エッセイ

#### 安部龍太郎



「本日休診」は、昭和五九年に創刊されたフリーペーパー。蒲田の街を舞台に、作家たちがそれぞれの視点から描き出した。このエッセイは、その中でも一つの代表作として紹介されている。

「本日休診」の創刊は、昭和五九年のことだ。その頃、蒲田は、戦後の復興期を迎えていた。街は、戦火の跡を癒やしながら、新しい息を吹きかかっていた。その中で、作家たちが、この街のありさまを、それぞれの視点から描き出した。その中でも、安部龍太郎の「本日休診」は、その中でも一つの代表作として紹介されている。

「本日休診」は、昭和五九年に創刊されたフリーペーパー。蒲田の街を舞台に、作家たちがそれぞれの視点から描き出した。このエッセイは、その中でも一つの代表作として紹介されている。

「本日休診」の創刊は、昭和五九年のことだ。その頃、蒲田は、戦後の復興期を迎えていた。街は、戦火の跡を癒やしながら、新しい息を吹きかかっていた。その中で、作家たちが、この街のありさまを、それぞれの視点から描き出した。その中でも、安部龍太郎の「本日休診」は、その中でも一つの代表作として紹介されている。

暮らしの中に安心を！  
安心の無本報第一号一読者会は、自然派高級紙  
毎日食べるオヤツだから  
安心なアニューのお菓子  
anew  
アニュー蒲田店  
☎3736-0966

COMMUNITY PAPER OF KAMATA  
**かまた**  
ニュース  
毎月10日発行2万5000部・無料配布  
発行：かまたニュース社 代表：藤原明雄  
〒114 文京区蒲田4-2-21 蒲田駅前ビル37号-3701  
配布エリア：蒲田・西蒲田・南蒲田・蒲田本町地蔵前込み  
第77号

今年はお正月だけ  
ひな祭りも祝日に  
してほしいよね  
KADOKAWA  
ACT

がパートで来ていた大脇さんだった。さっさと電話をかけ、あつけないほど簡単にインタビューの了解をとりつけてしまった。それを聞いたこつちがびつくりしてあわててしまったほどだ。

当日はどこをどう行つたのかの記憶は定かではないが、娘さんが近所で営んでいた笠美容室を目標に二人で出かけた。インタビューを終え、謝礼としてこちらとしては一杯頑張った謝礼として五万円を封筒に入れお渡ししたところ、笠さんは「こんなにもらつて、いいんですか」とおっしゃったことは今でも覚えている。

笠智衆さんが本紙に語ってくれた松竹蒲田時代のこと

①大部屋時代

笠智衆さん（以下、笠）は、1950年代後半から1960年代前半にかけて、松竹蒲田の中心人物として活躍した。この時期は、松竹蒲田の黄金時代と呼ばれ、笠さん自身もその中心人物として活躍した。この時期は、松竹蒲田の中心人物として活躍した。この時期は、松竹蒲田の中心人物として活躍した。



どこか、名声にもお金にも頓着しない、恬淡とした生き方、雰囲気は今の日本人の選択肢として無くなりつつあるスタイルのような気もする。

ほとんど目的もなく始めた「かまたニュース」という後ろ盾の無いメディアをつくつていて感じたのは、人であり組織であり、相手から分け隔てなくきちんと対応してくれることへのありがたさである。「かまたニュース」は消えたが、そうした地域に関わる方たちから得た生き方への思いは今も続いている。

4月中旬本社ビル完成  
オープニングスタッフ募集中  
◆早稲科盛くさいまでの方  
☎3735-3179へお電話どうぞ

Sunny  
●本店 ☎3739-3644  
●二子アザムシ ☎3739-3570  
●蒲田駅前 ☎3739-3570  
●蒲田西 ☎3739-3583  
●蒲田東 ☎3739-3583  
●蒲田南 ☎3739-3583  
●蒲田北 ☎3739-3583

回転寿司 100円  
一皿ぜんが100円  
活きてます  
ネタが  
回ります  
回転寿司のしのだ  
☎3732-4324

信頼できる  
家庭教師集団  
生徒の目的・時間・レベルに  
合った個別カリキュラムを作成。  
随時入学システム制。

1 思い切った・実行  
2 個別指導  
3 コースの決定

短期集中  
受付中！  
家庭教師システム学院  
TEL 03-3739-2740